

大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院产学連携・クロスイノベーションイニシアティブ
新型コロナウイルス対策研究開発助成事業<第2次>公募要綱

令和3年3月吉日

1. 概要

大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院产学連携・クロスイノベーションイニシアティブ（以下、XII という。）においては、本 XII の包括連携機関である三井不動産株式会社から本学大学院医学系研究科・医学部附属病院への奨学寄附金「新型コロナウイルス感染症対策助成金」を元に、「新型コロナウイルス」に関する研究開発、感染予防対策等の推進を促進するため、「新型コロナウイルス」に関する治療・創薬・医療機器開発・感染予防対策等に係る研究開発助成制度を創設。令和2年9月に「令和2年度新型コロナウイルス対策研究開発助成事業」を公募の上、令和2年12月に14課題を採択し、交付決定を行った。今回、その際の交付金残額を元に、第2次の公募を行う。

2. 対象とする事業

基本的に、令和2年度本事業の事業タイプIと同様、以下のとおりとする。

(1) 助成対象の研究開発テーマ：

「新型コロナウイルスを対象とした研究開発（基礎研究・創薬・治療・医療機器開発等を含む。）及び感染予防対策」に係る研究開発課題とする。

(2) 助成対象者：

・大学院医学系研究科（保健学専攻を含む）及び医学部附属病院の教員・研究員・医療従事者（看護師等で、所属部署の長から本事業に従事することの承認を得た者に限る）を研究代表者とした研究グループ（研究代表者単独による申請も可能）を対象とする。

・产学官連携による研究グループの場合は、本 XII の包括連携機関及び協働機関との共同研究を優先する。包括連携機関及び協働機関の参画企業の詳細は、XII の Web サイト (<https://www2.med.osaka-u.ac.jp/xii/pages/purpose>) を確認いただくか XII 事務局に問い合わせること。

(3) 対象とする事業タイプ（事業タイプI）：

① 研究開発期間： 令和3年7月1日(予定)から1年以内

（令和3年度～4年度の2年度に亘る期間も可能）

② 予算規模：原則として、100万円を上限とする。

（交付決定にあたっては、申請金額より減額して配分する場合がある。）

③ 採択件数： 2～3件程度

④ 予算配分： 予算配分は、研究開発開始日から1年間を単位として交付する。

⑤ 申請書類：

・研究開発助成事業申請書（様式I-1）

・所要経費内訳書（様式I-2）

3. 研究開発助成事業の流れ

- ① 研究開発助成事業申請書及び所要経費内訳書の申請書類を XII ディレクターに提出する。
 - ② XII が発足する審査委員会による書面審査の上、XII ディレクター承認の下、採択課題を決定する。また、審査の段階で、必要に応じてプレゼン・ヒアリングを実施する。
概ね令和3年6月末までに採択課題を決定する予定。
 - ③ 採択課題の研究代表者に当該助成金の予算配分(移算措置を含む)を行う。
※ 研究代表者の所属部署で当該助成金の予算執行を行うことから、執行についてはそれぞれの所属部署のルールに従うこと。
 - ④ 研究開発期間終了後、1ヵ月以内に以下の報告書等を XII ディレクターに提出する。
なお、予算に残額が生じた場合は、返納(移算)すること。
- <事業タイプI>
- ・研究開発成果報告書(様式2-1)
 - ・決算内訳書(様式2-2)
- ⑤ 採択者は、本事業の研究開発成果報告会(公開)において、成果発表を行うこと。

4. 応募期限

研究開発助成事業申請書の提出期限: 令和3年5月14日(金)17時(期限厳守)

5. 申請書の提出先

産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ事務局に、所定の「研究開発助成事業申請書」等の必要提出書類をメールの添付ファイルにより送付するとともに、所属教室等の長及び研究代表者の印鑑を押印した原本を提出すること。

送付先: office@ci.i.med.osaka-u.ac.jp

6. その他

申請に当たって不明な点がある場合は、産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ事務局に問い合わせること。

問い合わせ先:

大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院

産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ事務局

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘2-2 最先端医療イノベーションセンター棟 6F 0602A 室

TEL: 06-6210-8204(ダイアルイン、内線:8204)

E-mail: office@ci.i.med.osaka-u.ac.jp

年 月 日

大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院

産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ

ディレクター

殿

申請者:

所属の名称

所属教室等の長の氏名

印

研究代表者の職・氏名

印

新型コロナウイルス対策研究開発助成事業<第2次> 申請書

1. 研究開発(事業)課題の名称

2. 申請する事業(タイプIまたはタイプII)

3. 研究開発(事業)の目的

4. 研究組織(研究代表者・研究分担者の所属・職名・氏名・研究開発計画における役割を記載)

5. 研究開発(事業)の研究計画(研究開発の内容や手法)

6. 研究開発(事業)による成果

7. 研究開発(事業)期間

8. 所要経費総額(様式I-2の所要経費内訳書にて、所要経費の詳細を記入すること。)

9. 連絡担当者

所属(部局・専攻・教室等):

職名:

氏名:

電話:

E-mail:

○○年～○○年 所要経費内訳書

研究代表者名：

*当初の申請内容と大きく異なる場合は変更申請を要するため、産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ事務局より「変更申請書」の様式を入手し、速やかに提出のこと。

*変更の承認は審査委員会にて審議の上決定する。

年 月 日

大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院

産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ

ディレクター

殿

申請者:

所属の名称

所属教室等の長の氏名

印

研究代表者の職・氏名

印

新型コロナウイルス対策研究開発助成事業 <第2次> 成果報告書

1. 研究開発(事業)課題の名称

2. 採択事業(事業タイプ名)

事業タイプ I

3. 研究開発(事業)の目的

4. 研究組織(研究代表者・研究分担者の所属・職名・氏名・研究開発計画における役割を記載)

5. 研究開発(事業)の内容や手法

6. 研究開発(事業)の成果

7. 研究開発(事業)期間

8. 予算及び決算総額(様式2-2の決算内訳書等にて詳細を記入すること。)

9. 連絡担当者

所属(部局・専攻・教室等):

職名:

氏名:

電話:

E-mail:

樣式2-2

○○年～○○年 所要経費内訳書

研究代表者名：

1. 不用額は返納(移算)すること。
 2. 申請内容と報告内容が異なる場合は、決算内容が認められない場合があります。
 3. 決算額に不足が生じても、原則として追加配分は行いません。